学校番号	1101

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	新課程　パラレルノート数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする数学的活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

【知識及び技能】

いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに,事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。

【思考力，判断力，表現力等】

数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

【学びに向かう力，人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりできる。	いろいろな式,図形と方程式,指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えにおける数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	式と証明	式と計算 1 多項式の乗法と因数分解 2 二項定理 3 多項式の割り算 4 分数式の乗法･除法 5 分数式の加法･減法 6 恒等式	a：分数式を分数と同じように約分して扱うことができる。 b：整式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。また，展開の公式を用いて，3乗に関わる式を展開することができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	
		等式･不等式の証明 7 等式の証明 8 不等式の証明 9 相加平均と相乗平均	b：実数の性質や等式の性質，不等式の性質などを基に，等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し，証明できる。 c：等式の証明を通して，数学の論証に興味・関心をもつ。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りｼｰﾄ
	複素数と方程式	複素数と2次方程式の解 1 複素数 2 2次方程式の解と判別式 3 解と係数の関係	a：負の数の平方根を理解し，複素数の四則演算ができる。 ２次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解する。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ		

		高次方程式 4 剰余の定理と因数定理 5 高次方程式の解法	a：因数定理について理解し，簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる b：P(k)＝0 である k の値のみつけ方を理解し，高次式を因数分解できる。 c：日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，方程式を問題解決に活用しようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ	 ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
	図形と方程式	点と直線 1 直線上の点 2 平面上の点 3 直線の方程式 4 2直線の平行と垂直	a：座標を用いて，平面上の線分を内分する点，外分する点の位置や二点間の距離を表すことができる。 b：座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式で表現することができる。 c：図形の性質や位置関係について興味を持ち調べたりすることができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	 振り返りｼｰﾄ
		円 5 円の方程式 6 円と直線	a：座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。 b：座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，それを方程式で表現することができる。 c：図形の性質や位置関係について興味を持ち調べたりすることができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	 振り返りｼｰﾄ

		軌跡と領域 7 軌跡 8 不等式の表す領域 9 連立不等式と領域	a：軌跡について理解し，簡単な場合について軌跡を求めることができる。 b：数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すことができる。 c：数量と図形との関係などに着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして，問題解決に活用し，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係に興味を持ち調べることができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ	 ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りｼｰﾄ
後期	三角関数	三角関数 1 一般角 2 弧度法 3 三角関数 4 三角関数のグラフ 5 三角関数を含む方程式，不等式	a：角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解できる。 b：三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	 振り返りｼｰﾄ
		加法定理 6 加法定理 7 加法定理の応用 8 三角関数の合成	a：三角関数の加法定理や２倍角の公式，三角関数の合成について理解できる。 b：三角関数に関する様々な性質について考察するとともに，三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 c：二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	 振り返りｼｰﾄ

	指数関数と多数関数	1 指数法則 2 指数関数とそのグラフ 3 対数 4 対数の性質 5 対数関数とそのグラフ 6 常用対数	a：指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算できる。 対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をすることができる。 b：指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 c：指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，興味をもち調べることができる。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りシート	※表中の観点について a：知識・技能 b：思考・判断・表現 c：主体的に学習に取り組む態度
	微分法と積分法	微分法 1 平均変化率と微分係数 2 導関数 3 いろいろな関数の微分 4 接線 5 関数の増減 6 関数の極大･極小 7 関数の最大･最小 8 方程式･不等式への応用	a：微分係数の定義を理解し，それらを求めることができる。 b：導関数を利用して，関数の極値を求め，グラフをかくことができる。 c：関数の局所的な変化に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題を解決ようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ	振り返りシート	
		積分法 9 不定積分 10 不定積分の計算 11 定積分 12 定積分の性質 13 面積	a：不定積分及び定積分の意味について理解できる。 b：直線や曲線で囲まれた部分の面積を，定積分で表して求めることができる。 c：微分と積分の関係に着目し，積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ	定期考査 確認ﾃｽﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ	ﾚﾎﾟｰﾄ 振り返りシート	